

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212V103	地域看護学概論 (Introduction to Community Health Nursing)	専門教育科目 地域看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1	後期	火・4	後藤奈穂 内線:5094 E-mail:goto-naho@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

すべての人がより健やかに暮らすことに貢献する地域看護学のこれまでの経緯と実績をふまえて、家庭や地域を単位とした看護活動の考え方と、公衆衛生看護活動の目的、対象、方法の全体像、保健師活動、および在宅ケアにおける看護援助の基礎的な考え方を学ぶ。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 地域看護学および公衆衛生看護学の概念を説明する	○						
2. 地域看護活動の目的、対象、方法の全体像を表現する	○						
3. 地域における看護活動とその教育の変遷から地域看護活動の現状と本学カリキュラムの位置づけを説明する				○			
4. 地域看護活動における看護援助の基礎的な考え方を説明する					○		

【授業の内容】

1	地域看護とは・地域看護活動の場と活動領域
2	地域看護活動の理念と目標・保健師の役割機能の特徴
3・4	地域における看護活動の変遷と教育史
5	ヘルスケアシステムの中で機能する看護
6	地域看護活動の方法と保健指導技術
7・8	地区活動の基本と対象の捉え方・地区活動の展開

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	授業終了時のカード記入	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を使って事前に各自が学習内容の概要を確認し疑問点を整理しておく、疑問を出し合い討議する。 動画や実践事例からイメージする。
B：意見の表現・交換	○	グループ検討	
C：応用志向	○	グループ間討議・発表	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書等を用い次回の学習内容について予習し、概要と疑問点を予習シートに整理し講義に臨む (1h)
事後学修	配布資料・教科書を用い授業で学習した内容を復習する 保健師活動に関する図書を精読し地域看護活動の理解を深める (8h)

【教科書】

宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学 第3版 総論 2024年版. 日本看護協会出版会, 2024
厚生労働統計協会, 国民衛生の動向, 2023/2024

【参考書】

講義中に提示する

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
保健師活動に関する課題レポート	50%	○	○	○	○
期末試験	50%	○	○	○	○

【注意事項】

【備考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	保健師 (都道府県・保健所・市町村・病院)	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	地域看護学の理論と基盤となる構構概念を実務経験を交えて理解やすく講義する。	
授業形態	対面授業	